

えんがわ

第99号

2015年6月発行

発行元 衣笠病院グループ
衣笠須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

はじめまして

平成二十七年四月に湘南国際村クリニックに赴任した山川泰と申します。横須賀に生まれ育ち、大学時代は福島で過ごしました。小学校の時から久里浜剣友会で剣道をしていたため、大学時代も剣道ばかりしていました。部活に入れ込みすぎたためか、いまだに年二回は福島に行っています。震災の翌日も福島に行く予定だったので勿論行けず、後から先輩や後輩に聞いた話では、トイレで水が流せないのが一番困り、近所の井戸がある家から水をわけてもらい、井戸のありがたみを知ったそうです。卒業後は横浜市大で研修

し、そのまま横浜市大の第一内科に所属し、呼吸器内科医として神奈川県内の病院を転々としてきました。直前に勤めていた川崎にある関東労災病院は通勤に時間半かかり、患者さんに何かあったとしてもすぐには行けず、不自由な思いをしていました。そのため、地元横須賀の病院を探し、今回当クリニックにお世話になると決めた次第です。まだまだ不慣れなところもありますが、精一杯働かせて頂きますので、よろしくお願ひ申し上げます。

湘南国際村クリニック

医師 山川 泰



えんがわ在宅 ひとくちメモ

ウソでしょ、その話

善良な人をだまして、お金をもうける悪質商法。ますます手口が巧妙になり、だまされる人が急増しています。特に高齢者は弱みにつけこまれることが多く、注意が必要です。

平成二十五年中の消費生活相談は、平成二十三年と比べて件数が七六三九件、被害総額は約四三〇億円減少しています。高齢者が契約当事者である割合は七〇・五%と高くなっています。また、平成二十三年になつて、健康食品の送りつけ商法事犯に係る消費生活相談件数が急増し、高齢者の割合は九四・〇%と高くなっています。最近では手

口もさまざまで、「社債」「未公開株」「海外事業への出資」「老人ホームの入居権、会員権の代理購入」を装ってお金をだまし取る手口が増えています。また、二〇二〇年に東京で夏季オリンピックの開催が決定されたことに伴い、東京オリピックに関連した架空の事業への出資による被害も出ています。



そんな悪質商法の被害にあわないためのポイントは、『う』まい話を信用しない！『そ』うだんする！『つ』られて返事をしない！『き』っぱり、はつきり断る！で、「悪質業者は『うそつき』です。浦賀・久里浜第二地域包括支援センター
社会福祉士 山田 裕美子
『断る』には勇気がいりません。気合でお腹から大声をだすと『勇気』もでますよ。